

《石原の農薬登録情報》

(平成26年 6月25日付)

フロンサイドSC (フルアジナム水和剤)

登録番号18750号

＜適用拡大の概要＞

1. 作物名の追加

●作物名「アスパラガス(露地栽培)」、「キウイフルーツ(苗木)」、「かぶ」を追加する。

2. 適用病害の追加、使用時期の変更他

●作物名「キウイフルーツ」に適用病害虫名「白紋羽病」を追加し、適用病害虫名「灰色かび病」及び「果実軟腐病」の使用時期を「収穫30日前まで」から「収穫7日前まで」に変更し、フルアジナムを含む農薬の総使用回数を「1回」から「2回以内(散布は1回以内、土壌灌注は1回以内)」に変更する。

●作物名「はくさい」に適用病害虫名「尻腐病」を追加し、フルアジナムを含む農薬の総使用回数を「1回」から「2回以内(土壌混和は1回以内、土壌散布は1回以内)」に変更する。

●作物名「レタス、非結球レタス」に適用病害虫名「ビッグベイン病」を追加する。

3. 希釈水量の拡大

●作物名「はくさい」、「キャベツ」、「ブロッコリー」、「カリフラワー」、「レタス、非結球レタス」の希釈水量を「100～150L/10a」から「100～200L/10a」に変更する。

●作物名「ばれいしょ」、「チューリップ」の希釈水量を「100L/10a」から「100～200L/10a」に変更する。

(下線部が変更点)

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量(L/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
キウイフルーツ(苗木)	白紋羽病	500	=	植付時	1回	1時間苗木浸漬	1回
キウイフルーツ	灰色かび病 果実軟腐病	2000	100L/樹	収穫30日前まで	1回	土壌灌注	2回以内 (散布は1回以内、 土壌灌注は1回以内)
			200～700	収穫7日前まで	1回	散布	
アスパラガス(露地栽培)	茎枯病 斑点病	2000	100～300	収穫終了後 但し、秋期まで	5回以内		5回以内

作物名	適用病害虫名	使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
		薬量(ml/10a)	希釈水量(L/10a)				
はくさい	尻腐病	500	100～200	定植前(畦立後)	1回	全面土壌散布	2回以内 (土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
				定植前	1回		
キャベツ	根こぶ病	500	100～200	は種又は定植前	2回以内 (苗床では1回以内、 本圃では1回以内)	全面散布 土壌混和	2回以内 (苗床では1回以内、 本圃では1回以内)
かぶ				定植前	1回		1回
ブロッコリー カリフラワー							
レタス 非結球レタス	ビッグベイン病 すそ枯病	500	100～200	定植前	1回	全面散布 土壌混和	1回
ばれいしょ	粉状そうか病	600	100～200	植付前	1回	全面散布 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和は1回以内、 散布は4回以内)
チューリップ	微斑モザイク病 条斑病	500	100～200	植付前	1回	全面散布 土壌混和	7回以内

(該当作物のみ記載。)

＜使用上の注意事項の変更・追加＞

農薬登録申請書第8項「使用上の注意事項」について、(10)～(12)の項目を(10)にまとめ、さらに、(10)に「10アール当たりの処理本数が多い場合には、150本を超えないように適用の範囲内で使用すること。」の項目を追加し、以降を繰り上げる。

【変更後】

(10)白紋羽病、紫紋羽病対象に本剤を土壌灌注する場合

・樹幹から半径1m程度の範囲を掘り上げて根部を露出させ、病根を除去した後所定濃度の薬液を灌注し埋め戻すか、半径1m程度の範囲に土壌灌注器を用いて所定量の薬液を灌注すること。

但し土壌灌注器による灌注は予防的使用か軽症樹に限って行うこと。

・苗木に使用する場合、植付時に所定量の薬液を灌注しながら掘り上げた土を埋め戻すか、植付後に土壌灌注器を用いて所定量を注入すること。

・樹の大きさにより灌注水量を調節すること。また、灌注水量を厳守し、灌注水量が100L以上必要な場合は1000倍で使用すること。

・10アール当たりの処理本数が多い場合には、150本を超えないように適用の範囲内で使用すること。